



柳亭種彦作

天保三年壬辰
孟春發市

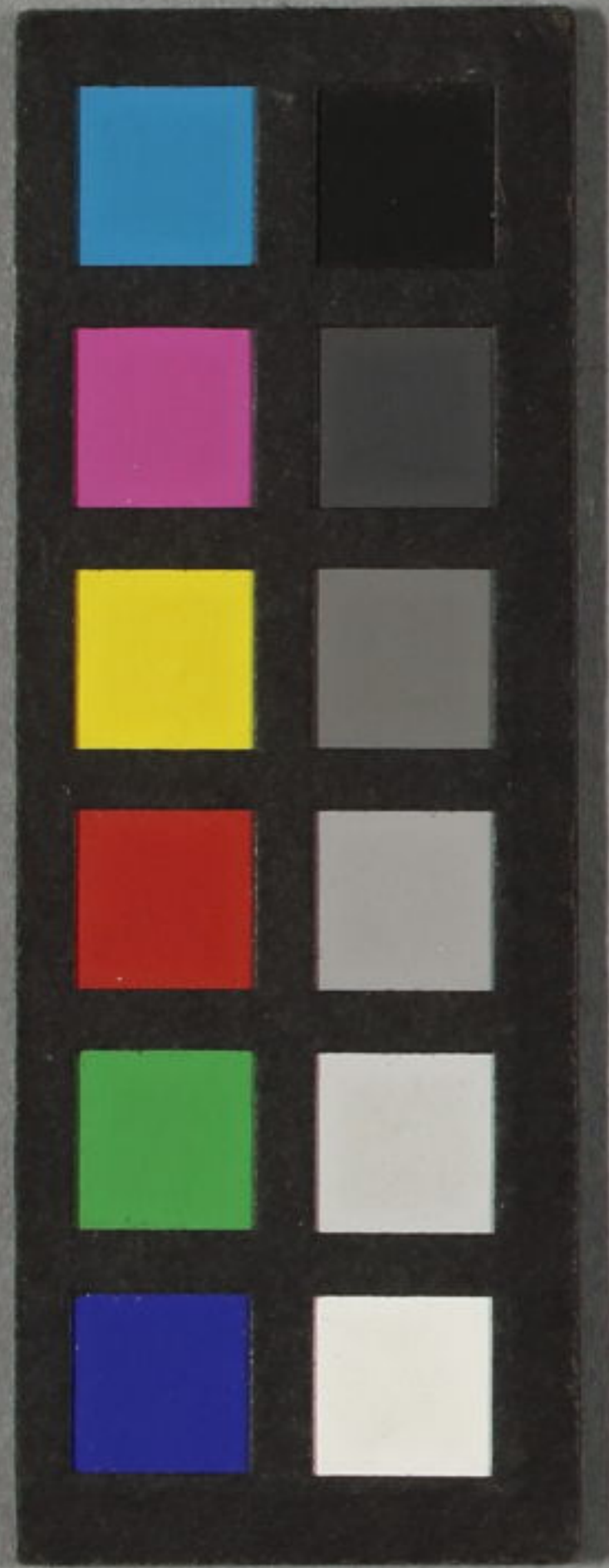
七編上冊

歌川國貞画

通油町 製本
鶴屋喜右衛門

田舎源氏 七

~ 13
3742
7



七編下

伊
戸
板



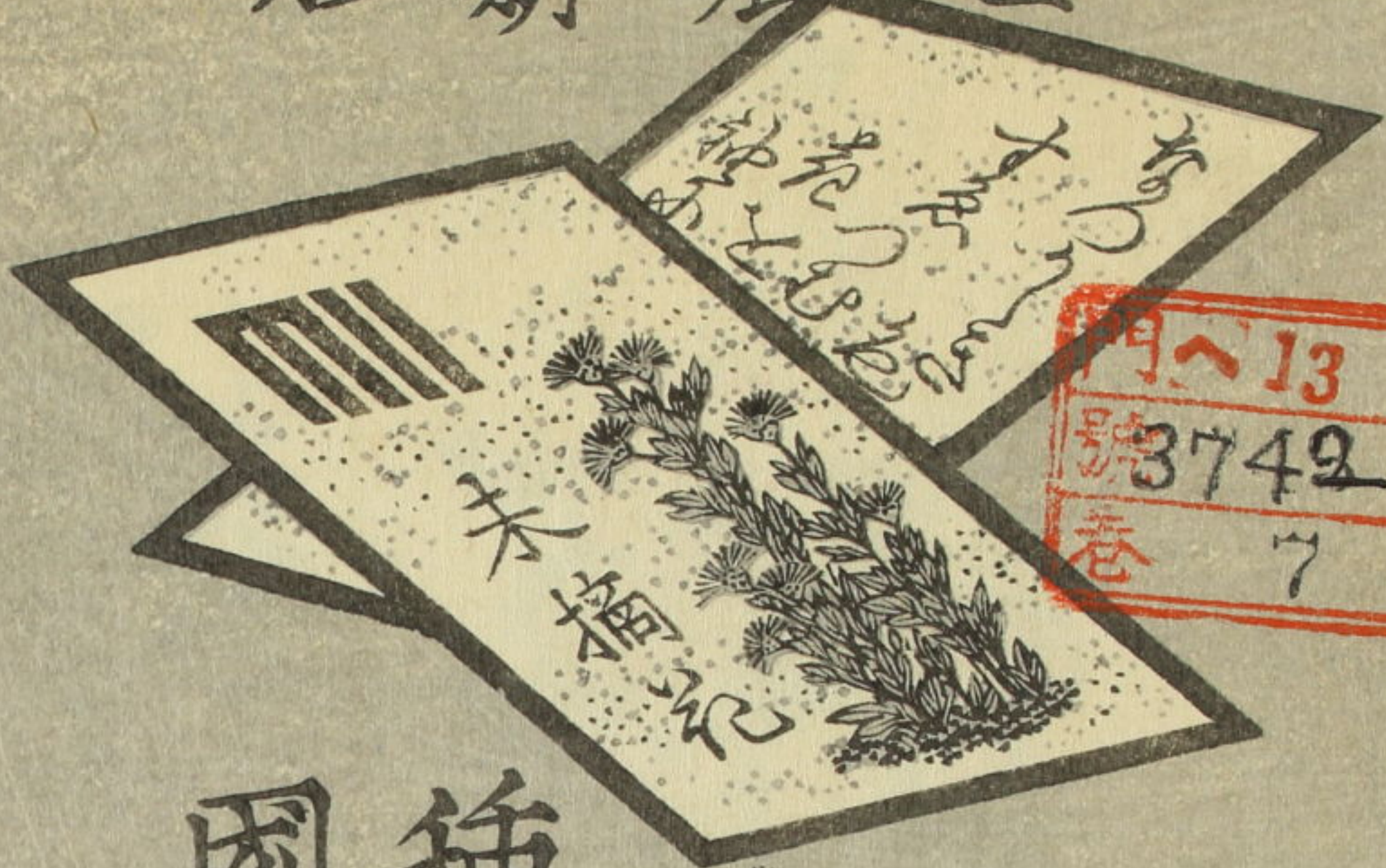
種彦作
圓貞画

似世業
為為可
先

七編上



壬辰新彫



仁努ひら

田舎源氏

種彦作

七編

國貞画

下冊

通油町仙雀堂

修紫田舎源氏第七編序

他人の核似乃核源氏類者鍋中あし袖と此巻を書きて
初より操かへまよふこれ似る事多しまづ花桐と杉生
用 此巻の初めは、おのゝり藤の方と光氏の忍達二條の槍の控二の
趣ありて、表とむす枝の圍房のくまひも大徑師お二茂兵衛の
髪形那のり所京木、魂の古寺あて黄昏、藝のまの治軍流行の
怪談、**用** 此巻の焼耐火より明く源氏を翻して繪草紙の湖木
浮ん月とまろ死真暗まる仕掛の燭臺周の標乃七編續
彼核源氏か高ひ一鱈の異名ありありある若紫の焼直
嗚呼年慶ふさまを柵守とるうてや廢らん

天保三年壬辰孟陽

柳亭種彦誌





夕暮のよ
 人かほこえ
 たらひ
 らみ
 こめ
 ちか
 ちか
 ちか

我身
 とまらふか

夕暮のよ
 人かほこえ
 たらひ
 らみ
 こめ
 ちか
 ちか
 ちか



光氏音川の下館よ
 忍びて藤の方み
 密事を告る





源氏物語の一場面を描いた挿絵。右側に立ち、左に座す人物のやり取りが中心。背景には障子や家具が描かれ、物語の情景を再現している。

この挿絵は、源氏物語の物語の進行を補足する役割を果たしている。登場人物の表情や動作から、その時々の心情や物語の緊張感を窺うことができる。



源氏物語の一場面を描いた挿絵。右側に立ち、左に座す人物のやり取りが中心。背景には障子や家具が描かれ、物語の情景を再現している。

この挿絵は、源氏物語の物語の進行を補足する役割を果たしている。登場人物の表情や動作から、その時々の心情や物語の緊張感を窺うことができる。

この挿絵は、源氏物語の物語の進行を補足する役割を果たしている。登場人物の表情や動作から、その時々の心情や物語の緊張感を窺うことができる。





Handwritten text in the upper left section, including the characters '源氏' and '七編'.



Handwritten text in the lower left section, including the characters '源氏' and '七編'.

Handwritten text in the lower right section, including the characters '源氏' and '七編'.



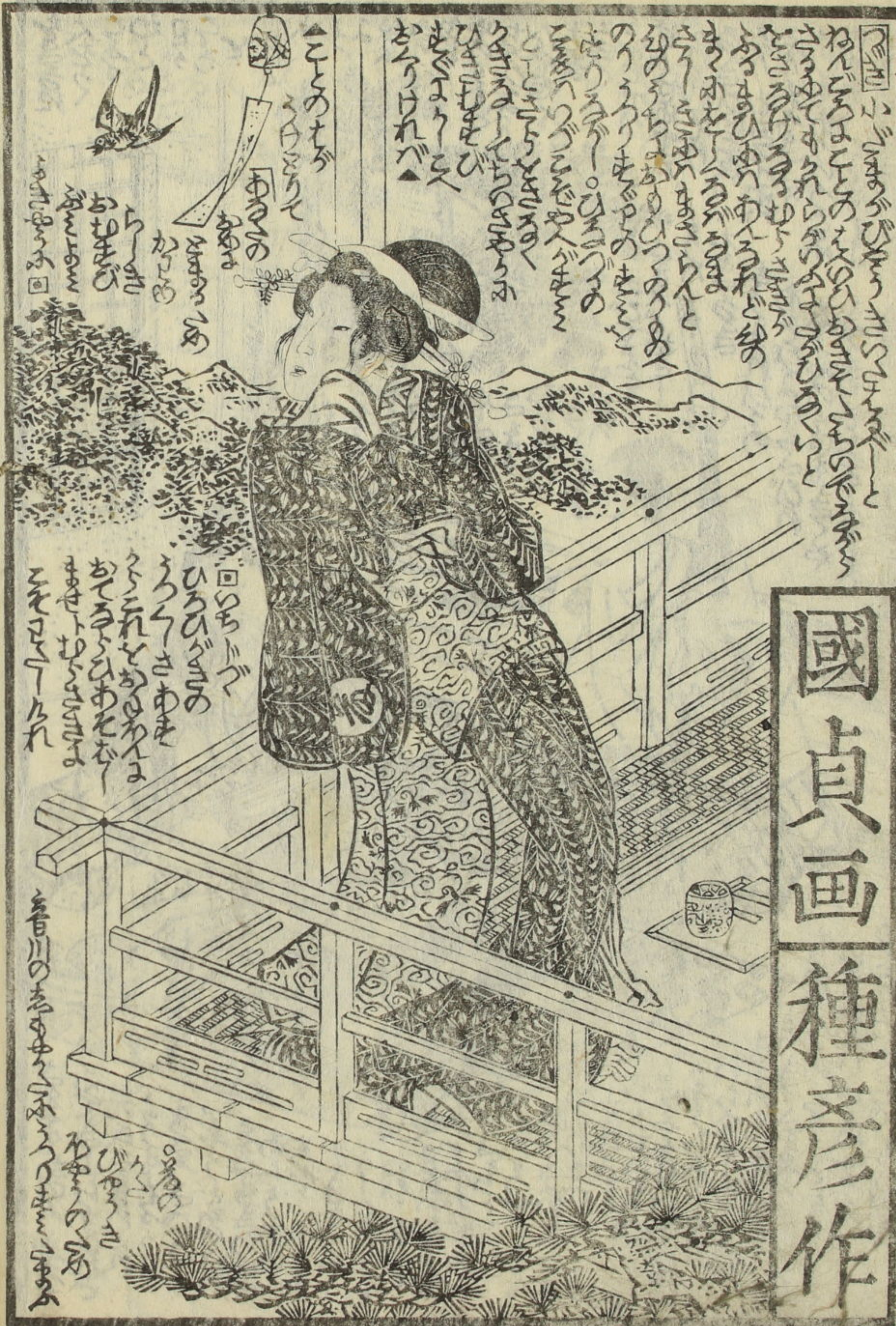
Handwritten text in the upper left section, including the characters '源氏' and '七編'.



Handwritten text in the lower left section, including the characters '源氏' and '七編'.

Handwritten text in the lower right section, including the characters '源氏' and '七編'.

國貞画種彦作



春の山を望むに
 遠くは山影の
 近頃は松竹の
 庭の隅に花の
 影のほかに鳥の
 鳴き声も聞く
 心は静かに
 春の光を待つ

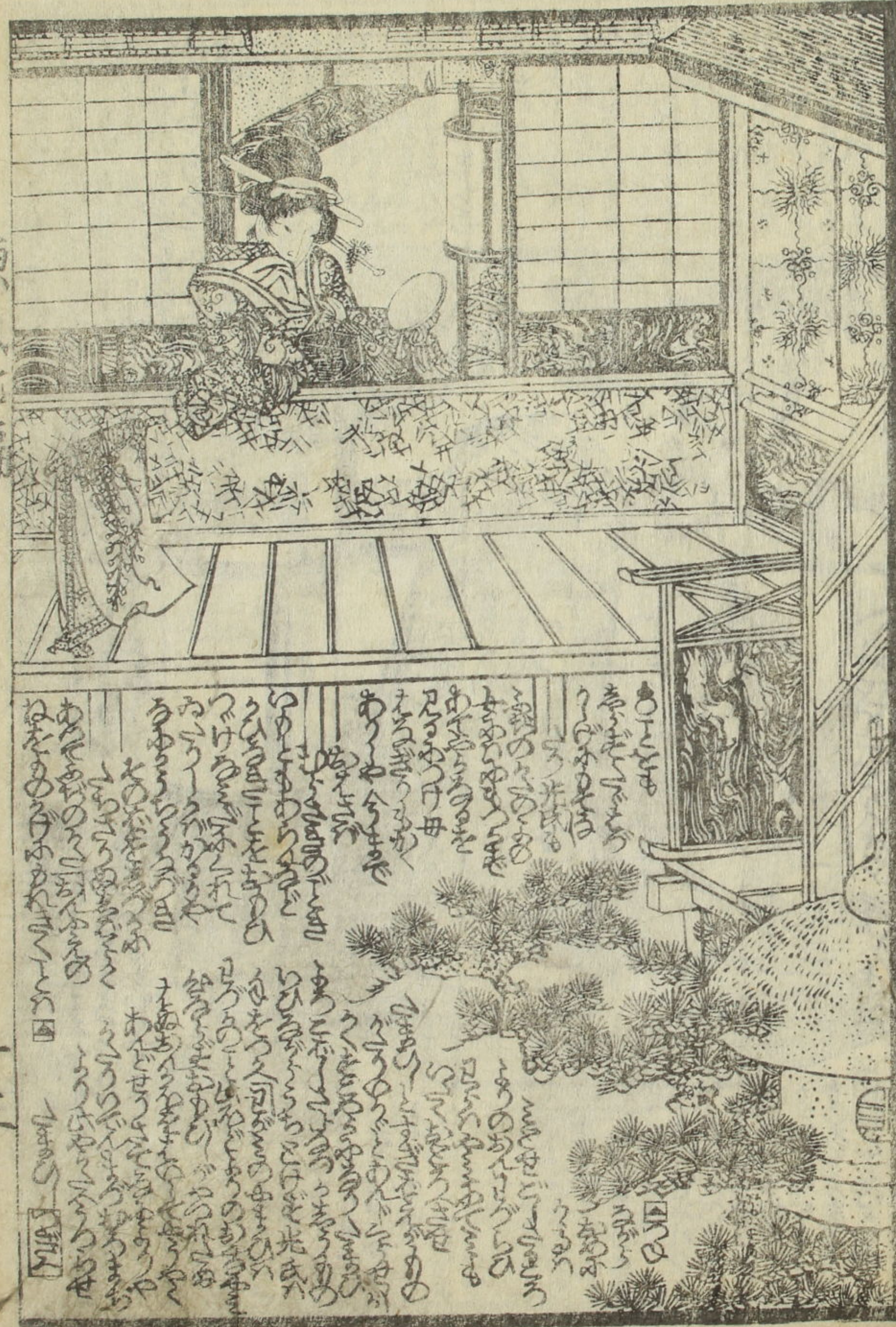
春の光を待つ
 心は静かに
 庭の隅に花の
 影のほかに鳥の
 鳴き声も聞く

春の光を待つ
 心は静かに
 庭の隅に花の
 影のほかに鳥の
 鳴き声も聞く



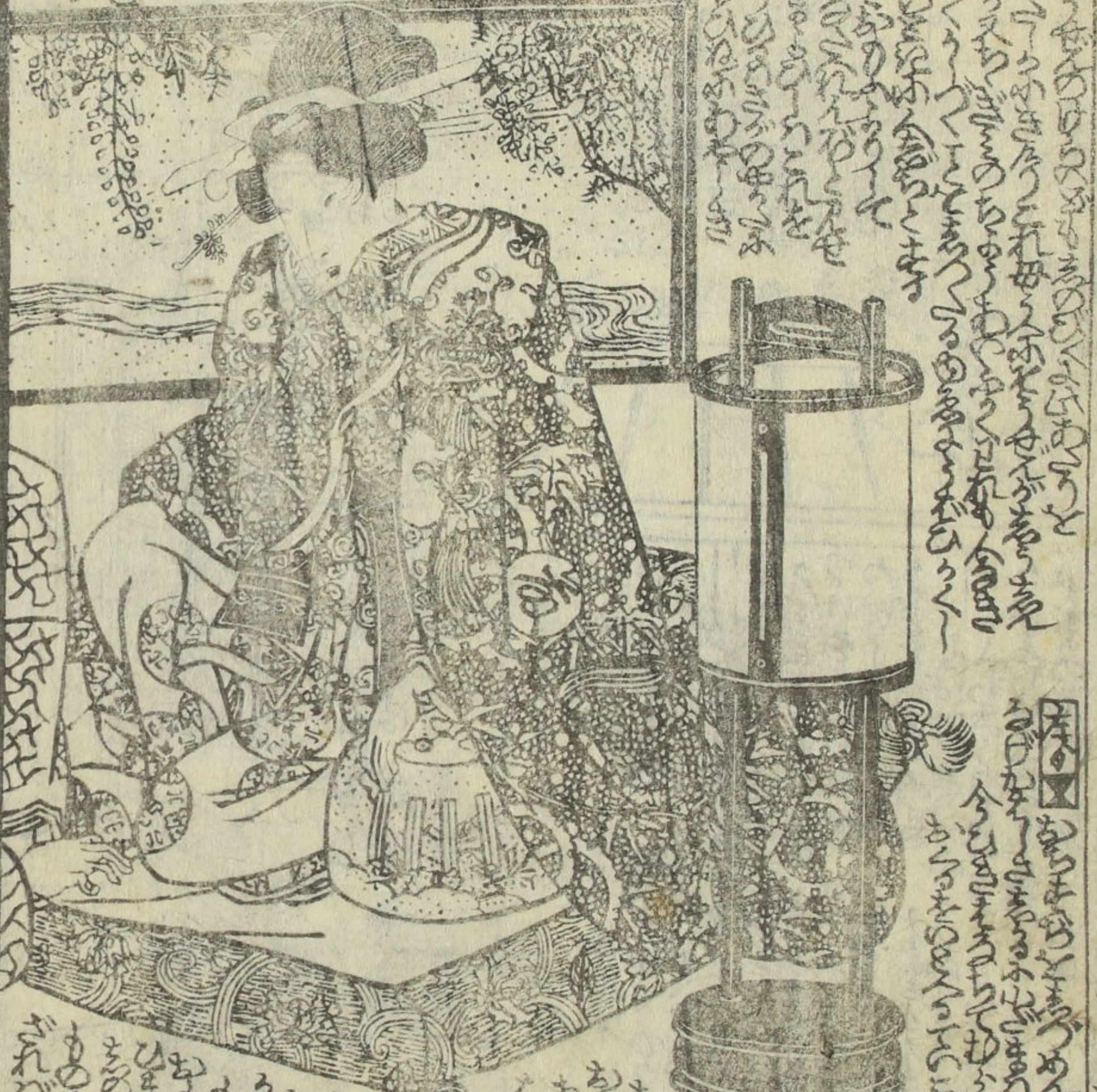
春の光を待つ
 心は静かに
 庭の隅に花の
 影のほかに鳥の
 鳴き声も聞く

春の光を待つ
 心は静かに
 庭の隅に花の
 影のほかに鳥の
 鳴き声も聞く



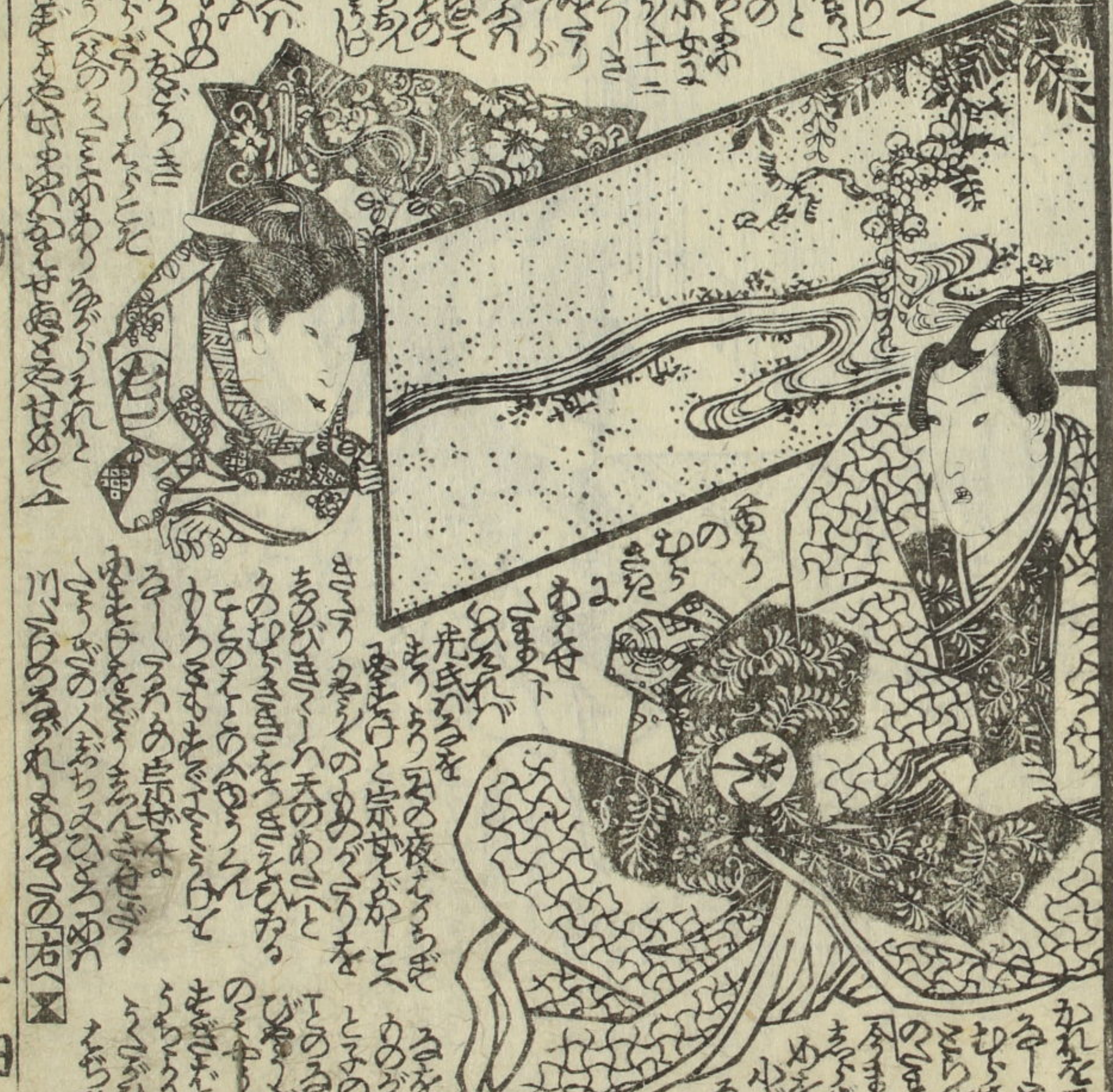
五十六

Handwritten text in a cursive script, likely a preface or introductory text, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the text from the top of the page, located at the bottom of the right page.

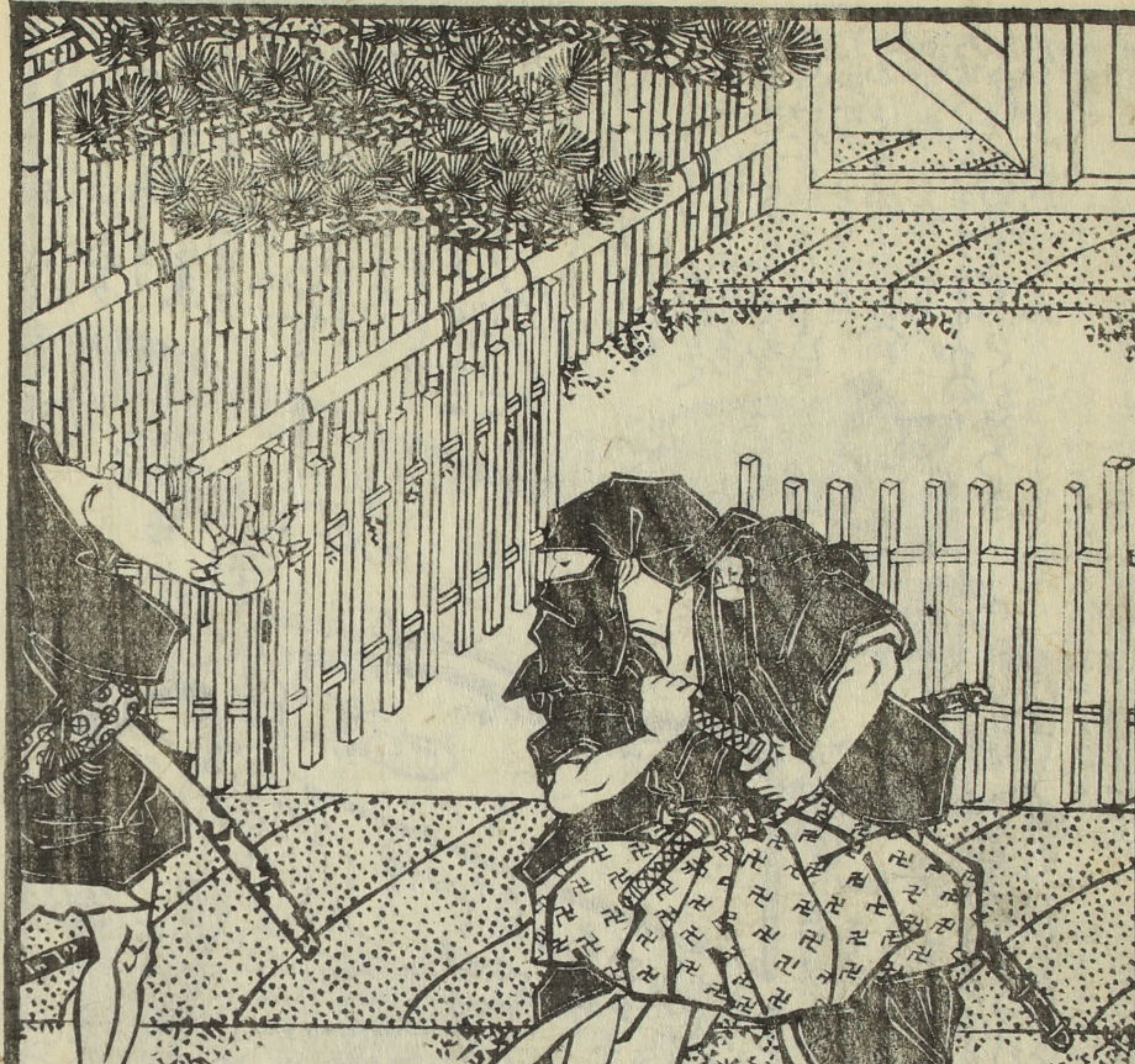
Handwritten text in a cursive script, likely a preface or introductory text, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the text from the top of the page, located at the bottom of the left page.



是の如き事は
 世に稀なり
 人の心も
 天の心も
 不可解なり
 人の心も
 天の心も
 不可解なり
 ...



是の如き事
 世に稀なり
 ...

源氏七編

十一

〆 〆

〆

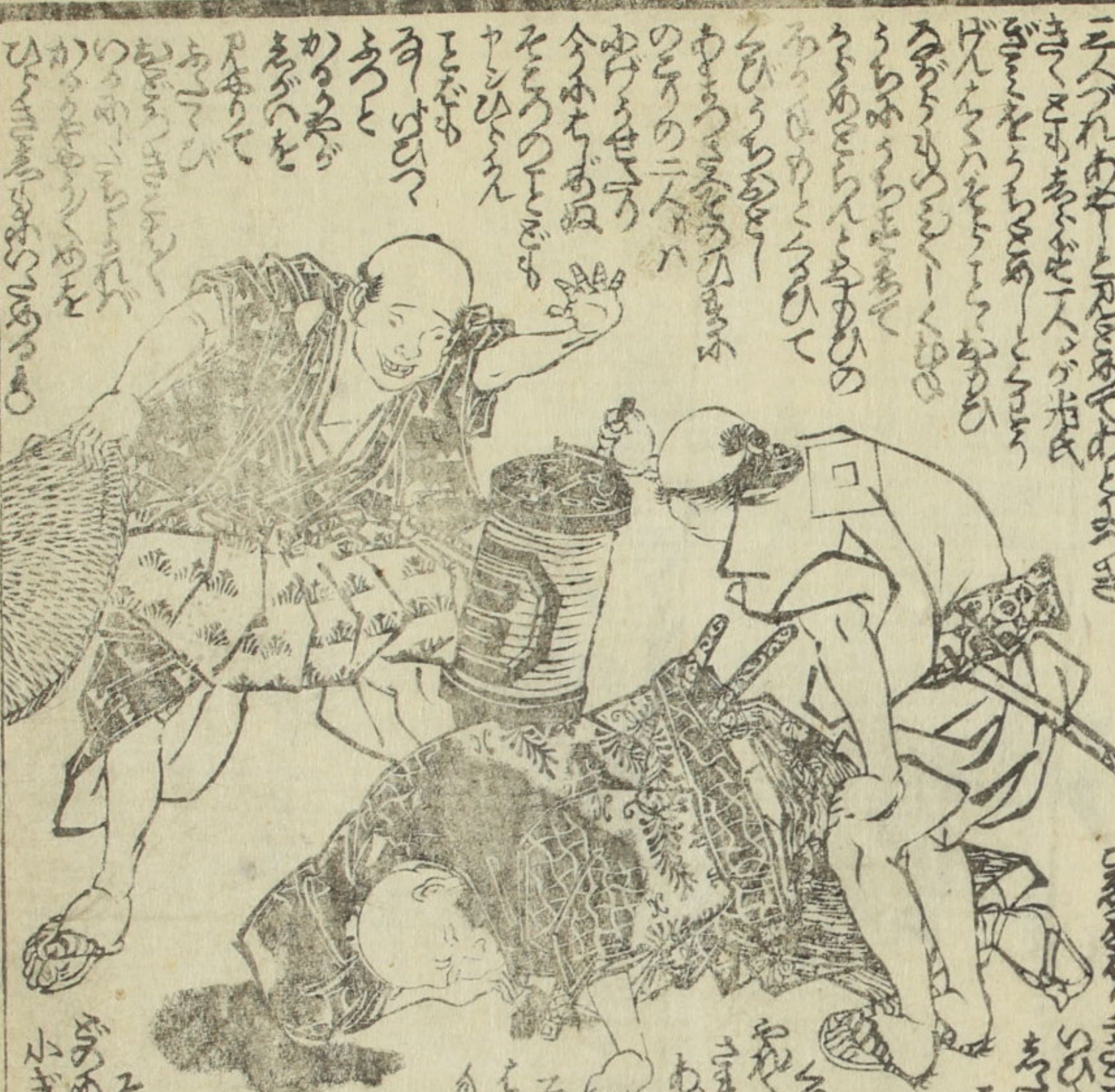
Source text on the right page, top section.



Source text on the right page, bottom section.

〆 〆

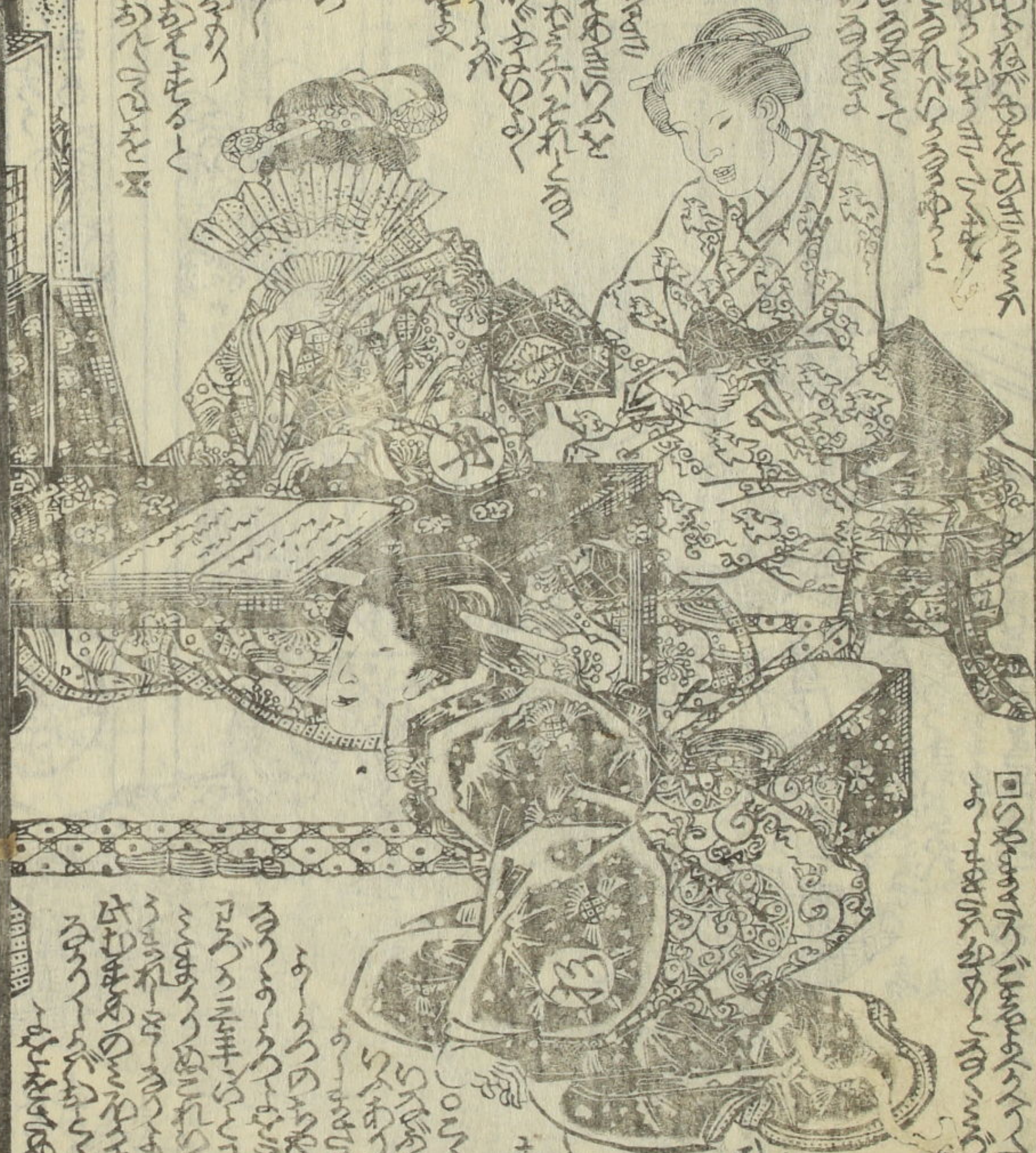
〆



Source text on the left page.



Handwritten text in the upper right section of the right page, likely a chapter heading or introductory text.



Handwritten text in the lower right section of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



Handwritten text in the upper left section of the left page, likely a chapter heading or introductory text.

Handwritten text in the lower left section of the left page, continuing the narrative or providing commentary.

